

2022 年 1 月 31 日

立命館大学体育会クラブのみなさんへ

立命館大学

学生部長 中西 純司

BCP レベル 3 のもとで「立命館スポーツのあるべき姿」を守るためのお願い

政府は 1 月 24 日、新型コロナウイルス（オミクロン株）の加速度的な感染拡大を受けて、大阪府、京都府を含めた 18 道府県に対して「まん延防止等重点措置（1 月 27 日から 2 月 20 日）」を適用する方針を発表しました。これを受けて、立命館大学は、1 月 31 日から BCP レベルを「3」に引き上げることを決定し、学生・教職員のみなさんにも周知しています。

これまで体育会クラブの皆さんは、いろいろな面でかなりの我慢と困難な状況を強いられてきたと思いますが、今後も「安全で安心な体育会クラブ活動」を継続するために、日常生活を含めてこれまで以上に基本的な感染症防止対策（特に、密の回避や一人ご飯・黙食など）を遵守・徹底していくと同時に、医療体制の維持をしていくためにも「自分も感染しない、大切な人や仲間にも感染させない」という自己規律化をより一層強めていくことが大切です。もはや、オミクロン株という感染力の強いウイルス環境下では、誰が感染しても、また、誰が濃厚接触者になってもおかしくはありません。

こうしたことを基本前提として、BCP レベル「3」のもとでの行動ルールに合わせて、春休み期間（2 月・3 月）中を含めて今後の体育会クラブ活動は、活動拠点 3 キャンパスとも「通常練習」と「公式戦」に限定し、「（宿泊を伴う）合宿・遠征」および「練習試合・合同練習」（いずれも高校・大学等）などを原則、中止・延期とすることにします。加えて、全国をはじめ関西圏における今後の感染状況や、立命館大学の方針等を把握しながら、引き続き、体育会クラブ活動のあり方について鋭意判断していくことを申し添えておきます。

なお、こうした動向の詳細は、スポーツ強化オフィスの HP「Ath-Rits」において、適宜、確認してください。 (http://www.ritsumei.ac.jp/athletes_support/)

=====

2021 年 11 月 5 日に発した学生部長メッセージでもお伝えしたように、今、体育会クラブのみなさんは、普段通りの日常生活を送れる「ケ」（襲）の状況ではなく、オミクロン株の感染爆発という普段通りの日常生活を営むことに大きな支障が出ている非常時の不浄な「ケガレ」（穢れ・汚れ）のなかで、スポーツ活動という儀礼や祝祭、年中行事などと同じ非日常的で開・解放的な「ハレ」（晴れ・霽れ）としてのクラブ活動を実施している、ということを絶対に忘れてはいけません。また、各クラブが年中行事としている納会・歓送会などの「ハレ」の活動も同様です。

そうした「ケガレ」の状況を改善しようと必死に尽力している医療現場のみなさんの姿や医療逼迫の危機にあることなどを考えると、私たち立命館アスリートにできることは、「スポーツという文化を支える社会的基盤が揺らいでいる状況のなかで、あえてクラブ活動を行う社会的な意味・意義とは何かを一人ひとりが真剣に問い、今、われわれが社会全体に協力できることは何かを考えながら、自己規律的な行動に徹する」といった、立命館大学と地域社会との「共有価値の創造」(CSV)に貢献することです。これこそが、「立命館スポーツのあるべき姿」ではないでしょうか。

=====

最後に、オミクロン株の感染爆発のなか、何か不安や不明なことがあれば、いつでもスポーツ強化オフィスまで連絡してください。

以上